

北海道森林管理局入札監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日：平成27年3月31日)

開催日及び場所		平成27年3月26日(木曜日) 研修第二教室
委員		荒島裕雅 (荒島裕雅税理士事務所) 寺田昌人 (寺田公認会計士事務所) 野口幹夫 (中島・野口法律事務所)
審議対象期間		平成26年10月1日～平成26年12月31日
審議対象案件		171件 うち、1者応札案件64件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件
抽出案件		16件 うち、1者応札案件 8件 (抽出率9.4%) (抽出率12.5%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 0%)
工事	一般競争	4件 うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	指名競争	
	公募型指名競争	該当なし
	工事希望型競争	該当なし
	その他の指名競争	該当なし
随意契約		該当なし
業務	一般競争	3件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	指名競争	
	公募型競争	該当なし
	簡易公募型競争	該当なし
	その他の指名競争	該当なし
	随意契約	
	公募型プロポーザル	該当なし
	簡易公募型プロポーザル	該当なし
標準型プロポーザル	該当なし	
その他の随意契約		1件

抽出案件内訳

物品・ 役務等	一 般 競 争	8件 うち、1者応札案件 5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	指 名 競 争	該当なし
	随意契約（企画競争・公募）	該当なし
	随意契約（その他）	該当なし
(特記事項)		
委員からの意見・質問、それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	<p>1 C1造林事業について、作業道新設・修理の予定価格と業者の見積価格に大きな開きがあるのはなぜか。 また、業者は公告により、作業内容を把握した上で入札に参加しているのではないか。</p> <p>2 総合評価落札方式について、技術提案の審査を担当している者はどのような者か。 また各技術審査にかかる時間はどのくらいか。</p> <p>3 AAZ1、AAZ2について、作業内容も現場の場所も同じであるが、別々の発注としているのはなぜか。</p>	<p>1 本件については、公告において通勤路確保のための補助者不要の路面整正として示していたところであるが、これだけ価格に開きが出たと言うことは、業者が見積もりをした際に、作設に伴う土砂の切土・盛土や補助者の配置等を見込んでいたのではないかと考えられる。</p> <p>2 本局の契約適正化専門官4名が担当しており、全署等分の技術提案の審査を行い、4名の合議によって技術点が決まるものである。 技術審査にかかる時間については、事業内容・価格等により提案内容も変わってくるものであり、入札が集中する時期については相当な時間を要している。</p> <p>3 作業現場は近隣ではあるが、災害に伴う緊急調査であり、早期に成果を納めてもらう必要があることから被害を受けた流域毎に分けて発注したものである。</p>

	<p>4 各事業によって、入札筆記書の様式が違うが、何か理由はあるか。</p>	<p>4 電子入札、紙入札の入札方式の違いにより様式が変わってくるものである。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>今回の審議案件については、適切に行われていたと判断する。</p>	

事務局：北海道森林管理局総務企画部業務調整課

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。

北海道森林管理局入札監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	平成27年3月26日（木曜日） 研修第二教室			
委員	荒島裕雅（荒島裕雅税理士事務所） 寺田昌人（寺田公認会計士事務所） 野口幹夫（中島・野口法律事務所）			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				